

平成26年
9月定例会
第39号

議会だより

か
み

— CONTENTS —

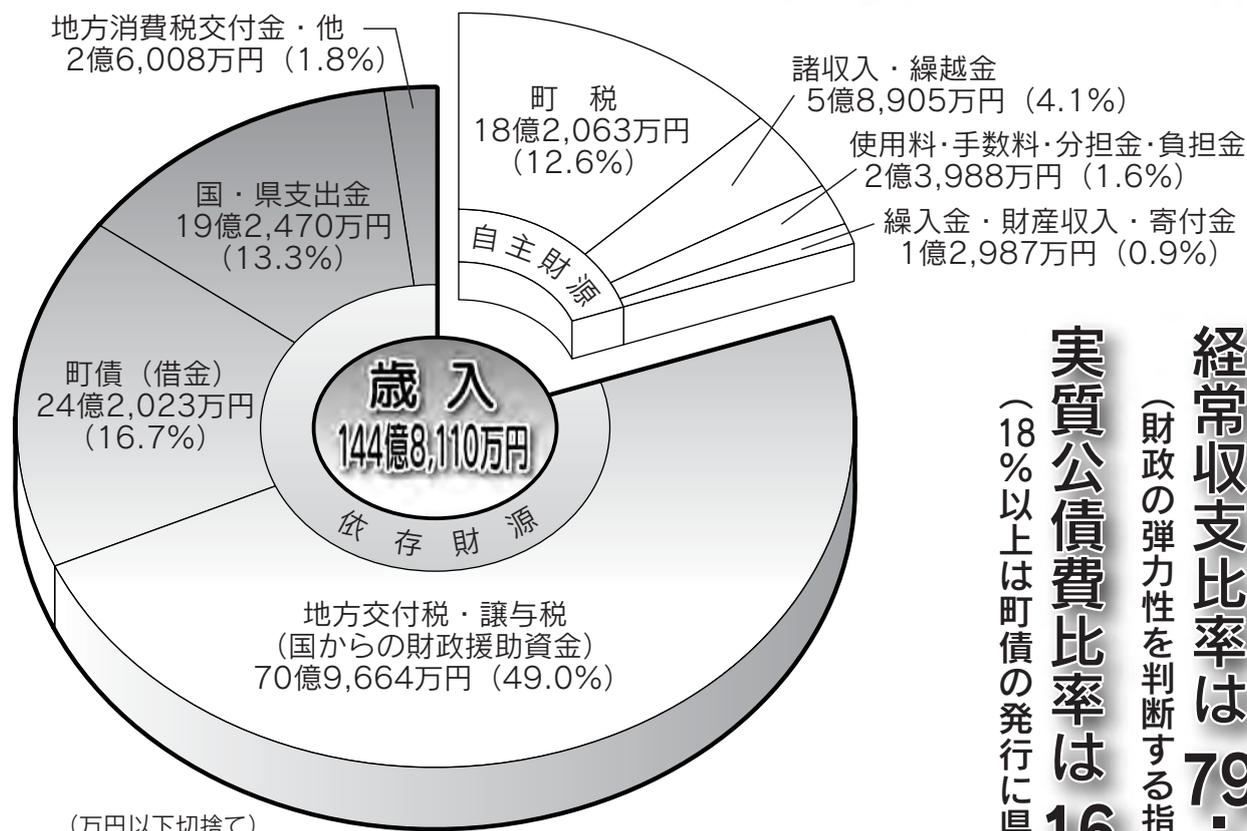
- 平成25年度 決算認定 2～4
- 子ども・子育て支援新制度 5
- 住民の声 届くか (15人が一般質問) 10～17
- この人 ここにあり 18

か
い
い
ぱ
い
が
ん
ば
ろ
う

(みなと保育園 運動会)

向かっているのか？ 億7,261万円の黒字 出決算 認定！

一般会計歳入



経常収支比率は **79.3%** (前年比△6.8ポイント)
 (財政の弾力性を判断する指数75〜80%が健全とされる)
 実質公債費比率は **16.5%** (前年比2.6ポイント改善)
 (18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

財源別内訳

(単位：万円、%)

区分	平成24年度		平成25年度		前年度比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	構成比
自主財源	272,731	19.8	277,944	19.2	1.9	△0.6
依存財源	1,107,622	80.2	1,170,166	80.8	5.6	0.6
計	1,380,354	100.0	1,448,110	100.0	4.9	

前年度と比べ自主財源は1.9%、依存財源は5.6%増加している。
 構成比で見ると自主財源が0.6ポイント減の19.2%、依存財源はその分増となっている。

主な基金の前年対比

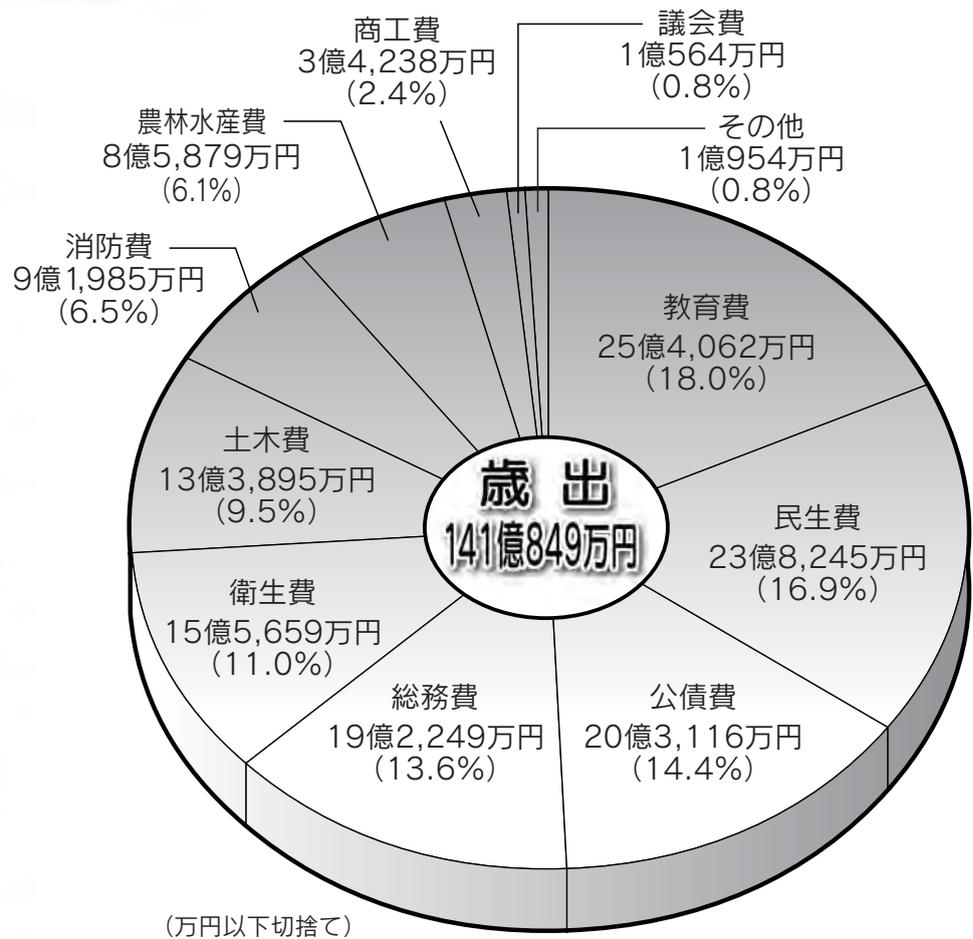
(単位：万円、%)

	平成24年度	平成25年度	増減率
財政調整基金	187,217	229,366	22.5
減債基金	21,692	48,023	121.4
国民健康保険財政調整基金	22,358	21,894	△2.1
兎塚・川会歯科診療所財政調整基金	9,165	10,222	11.5

町の財政は健全化に
歳入歳出差引額 3億
25年度歳入歳

一般会計歳出

予算に対する執行率 90.9%
不用額 3億5,866万円



歳出決算 (性質別) の主な内訳

(単位: 万円、%)

区分	年度		前年度比較 増減率
	平成24年度 金額	平成25年度 金額	
人件費	200,711	193,997	△ 3.4
補助費	161,385	249,736	54.8
投資・出資・貸付金	18,174	44,469	144.7
普通建設事業費	207,987	263,379	26.6
災害復旧事業費	20,783	9,262	△55.4

平成25年度決算は、決算特別委員会に付託され（議長、監査委員の2名除く）14名で審査を行いました。実質収支額は、一般会計で2億5千166万円の黒字、特別会計も1千575万円の黒字となりました。

委員会質疑

問 賃借料に関して、合併前の旧町時代からの賃借料をそのまま堅持しているが、統一の考えはないか

答 借地料等は地価に違いがあり、旧町の考えを基準としています。

問 浜上町政は1年半となる今、決算を踏まえて何ができ、何ができなかったのか。また、今後の展望は

答 中学生までの医療費無料化、燃油対策を補正で対応しました。26年度予算に対する調整と改革をするための準備の期間と考えております。

問 ふるさと納税は、寄附者の望み通りに活用されているのか



一般会計

反対討論 谷口 眞治 議員

答 基本的には納付者の意向に沿ったものと考えています。

問 地域おこし協力隊に対し、制度資金の活用と現在の協力隊員を増員する考えはないか

答 協力隊は町の職員と同じ扱いと考えております。今後増員の予定はありません。

採決

全議案、認定しました。

各会計の決算状況 (単位：千円)

会計区分	歳入	歳出
一般会計	14,481,109	14,108,496
特別会計	5,359,139	5,343,382
国民健康保険事業	2,890,804	2,877,300
後期高齢者医療保険事業	273,772	272,960
介護保健事業	2,127,766	2,127,563
財産区	2,018	780
町立地方卸売市場事業	1,498	1,498
国民宿舎事業	24,145	24,145
矢田川憩いの村事業	30,240	30,240
宅地造成事業	8,896	8,896
合計	19,840,248	19,451,878

平成25年度公立香住病院・水道・下水道の企業会計決算を認定

6月定例会で提案された公立香住病院事業企業会計決算は総務民生常任委員会に、また、水道事業企業会計決算、下水道事業企業会計決算は産業建設文教常任委員会に審査を付託していました。8月臨時会で各常任委員会から審査の経過と結果について報告を受け、いずれも全員賛成で原案を認定しました。

質疑

公立香住病院事業

問 医療利益減少に見合った費用抑制の経営努力は

答 収入増加対策と共に施設内の温度管理、電気・重油使用量の抑制、器具備品、医療機器の更新抑制に努めています。

問 医師、看護師確保の状況は

答 香住病院勤務経験医師と香美町出身の医師を訪ねて紹介頂いた医師を中心に週1から2回のペースで訪問しています。看護師確保は年間を通じて中途採用を実施し、昨

水道事業

年度から今年4月までに3人を採用しました。

問 今後の収支計画は

答 平成28年度末の累積収支は計画通りの見込みで、29年度以降の新たな収支計画を策定して計画的に運営し、現金による収支均衡を図ります。

下水道事業

問 下水道の統合計画は

答 統合時期は、劣化する機械設備等の修繕に係る経費等を考慮し、機械更新時期に合わせ平成30年代に5処理区を統合する予定としています。



高い水道水

来年度から 子ども・子育て支援新制度

議論熱

子ども・子育て支援法による保育・教育関係4条例制定



町内唯一の認定こども園

子ども・子育て支援法など関連3法の制定に伴い、保育の必要性の認定に関する条例制定など、4件の条例制定と母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴い、福祉医療費助成条例の一部改正の5議案が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

保育の必要性の認定に関する条例

質疑

問 新法では保育の申請と認定の2つの手続きが必要ですが、手続きを一体化できるのか
答 本町では従来どおり、

一回の手続きで申請と認定手続きが済むように考えております。

問 認定されるには保護者の就労状況が審査されるが、祖父母はどうか
答 祖父母については検討します。

反対討論

谷口 眞治 議員

新制度では認可と保育所に入るための2つの申請手続きが必要であり、就労状態の管理等、保護者の負担が大きいため、反対である。

賛成多数で可決

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

質疑

問 町が率先してきた放課後児童クラブが後退することにならないのか
答 現行では10人以上の規定がありました。この条例では幼稚園ですと少人数でも一時預かりできるので利用者にとってはいいと思います。

全員賛成で可決

家庭的保育事業等の設備普及及び運営に関する基準を定める条例

質疑

問 小規模保育等では保育士資格がない者が携わり、危惧を覚える
答 小規模や家庭的保育を行わなくてもいいように、保育所の定員増加や増設で対応します。

問 必要な人材を確保するためにも病院等の事業所内保育にこの条例を活かすべきではないのか
答 町の保育体制と新規参入事業者の間で、町民の皆様がどこを選択するかという幅が出てきます。

反対討論

山本 賢司 議員

民間事業者が基準に合致した申請をしても町が認めないこともあり、我が町には必要ない条例だ。

賛成多数で可決

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

質疑

問 保育事業者への給付と監査はどうなるのか
答 給付の部分が直接施設に行きますが、町内の公立・私立保育所は今ままで変わりません。監査権限は町に変わります。

問 私立の保育所が認定こども園化すればどうか
答 保育料は町と協議して決め、施設が直接保護者から徴収します。

反対討論

山本 賢司 議員

保育料も定まらない中、この条例の意味がないことから否決が妥当だ。

賛成多数で可決

総額 1億6,700万円の増額

平成25年度決算余剰金

がんばる地域交付金

農業施設災害復旧事業

9月定例会には、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、公立香住病院事業企業会計、水道事業企業会計、下水道事業企業会計補正の6議案が提案されました。

一般会計補正予算では、防犯灯リース料に修正案が提出され賛成多数で修正案が可決され他の5議案は全員賛成で可決しました。

一般会計

質疑

問 防犯灯を蛍光灯からLED照明に変える経費の積算根拠は

答 LED照明はリースで導入し、その経費は電気料金の削減分も含めて実施設計までをこれから調査します。予算化のために概算の金額としています。

問 電算システム開発事業費の説明を

答 電算機器ネットワーク等が故障した場合に新たな補助的な機能をもたせします。また、平成27年10月には国民一人ひとりに12桁の番号が付与され、平成28年1月以降段階的

に個人番号が利用開始されます。これらのシステム開発事業費です。

問 ふるさとづくり事業費の説明を

答 ひとりの方が全国の自治体にふるさと納税をされる傾向があります。従いまして本町として積極的にふるさと納税の推進を行ない、香美町の特産物のPRが重要と思っています。

問 環境美化推進協議会の状況について

答 香美町が合併して10年になりますが、このゴミの分別方法が変わる時に協議会に各自治区から代表者に入っていた、き、分別等が正しくできよう町全体で取り組んでい

きます。また協議会は設立していません。

問 農地中間管理事業等推進事業費の説明を

答 兵庫みどり公社からの業務委託については農地の借受け・貸付等業務の推進にあたって、町・農業委員会・各種農業団体との連携が不可欠と考え、人農地プランの作成が重要と思っています。町が、みどり公社の窓口となり円滑な業務の推進を図るものです。

問 財産管理費のアスベスト分析現地調査委託料

答 予防接種法の施行が改定され10月1日より実施します。対象になる方々には個別に文書を送付させていただきます。また広報・ホームページにより周知していきます。

が10力所と聞いたがどこか

答 現在、特にどの施設とは決まっています。職員に所管する施設を目標させ、その中でアスベストと疑うことがあるとするなら調査いたします。

問 予防費の予防接種委託料の具体的な計画周知方法は

答 予防接種法の施行が改定され10月1日より実施します。対象になる方々には個別に文書を送付させていただきます。また広報・ホームページにより周知していきます。

修正案を提出

防犯灯リース料月額10万円を削除し、予備費に組み替える修正案が提出されました。

提出者 見塚 修議員
藤井昌彦議員

提案理由

LED化で電気料金の削減また設置経費等積算根拠が不明確である。防犯灯リース料月額10万円を全額削除し予備費に組み替える。

修正案 賛成多数で可決



LED化に待った！積算根拠を明確に

人事

香美町副町長

次の方を香美町副町長として任命することに同意しました。
任期は平成26年10月9日から4年間です。



香住区香住1787番地
にし うち まさ あき
西内正昭さん

計画

過疎地域自立促進計画の変更

事業計画の追加

町道用野2号線(道路改良)

全員賛成で可決



改良が急がれる用野線

請願・意見書

**村岡高校1学年2学級維持
手話言語法(仮称)制定**

請願採択、意見書提出へ!!



手話講座



地域貢献する村高生

採択

採択

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

請願者 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
たじま聴覚障害者センター所長 小林 泉
紹介議員 森 利秋

総務民生常任委員会に付託され、全員賛成で採択、本会議でも採択され、意見書を国に提出しました。

請願及び意見書の趣旨

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子供が手話を身につけ、手話が学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定するよう強く求める。

香美町の高校教育を守る請願書

請願者 村岡高等学校同窓会明倫会会長 西村芳和
村岡高等学校PTA会長 小西 敏
村岡・小代内各小中学校PTA会長など
合計2千76人
紹介議員 西村伸一 藤井昌彦

産業建設文教常任委員会に付託され、全員賛成で採択、本会議でも全員賛成で採択され、意見書を賛成多数で兵庫県(知事及び教育委員長)に提出しました。

請願及び意見書の趣旨

村岡高等学校の学級数を1学年2学級で維持すること。

木質バイオマス供給施設

(建築) 整備工事請負契約締結 随意契約

--- チップヤード棟・作業用建物棟・バックヤード棟の建築 ---

地域林業の再生及び
地域の活性化を図る

質疑

問 工事に不足が生じ、備品購入費より約2千327万円を流用することだが、今後必要な重機等の購入はどうなるのか。また、共同企業体2者の出資配分はどうか
答 作業機械は森林組合が事業主体となって購入することとなっています。費用については今後の補正で対応します。2者の出資配分は、株本建設工業70%、アイテック西岡30%です。

全員賛成で可決

契約の目的
香美町木質バイオマス供給施設
(建築) 整備工事
契約の金額
金129,600,000円
契約の相手方
株本・西岡特別共同企業体



現在のチップ工場 ストックされた木材

平成26年度一般会計補正予算
(第2号)

特別支援学校誘致に係る旧射添中学校
アスベスト対策費用、1千177万円追加

質疑

問 アスベスト対策費について、特別支援学校の設置者である県への負担折衝や共同で要望してきた新温泉町に応分の負担を求める考えはないか

答 これまで県にお願いしてきた経緯や、現在香美町の施設であるということ等を総合的に考えますと、本町で対策をしながら県に譲渡することがベストだと思います。したがって県や新温泉町に対して折衝や応分の負担を求めることは考えておりません。

全員賛成で可決

問 アスベストについて、過去に調査をしたが、今回新たにできた。他の施設について再調査する考えはあるか。
答 他の施設について調査をしていきたいと考えています。

◆◆◆ 報 告 ◆◆◆

○平成25年度株式会社むらおか振興公社
業務報告

- ・村岡ファームガーデンは黒字
- ・但馬高原植物園は赤字



特別支援学校分校となる旧射添中学校校舎



アスベスト (参考写真)

質疑

問 植物園の冬季の営業継続に向けての取り組みとは

答 冬季に園内の積雪を利用してかまくら作り等を試験的にやってみたところ、大変好評だったので、もう少し本格的に取り組んでみたいと考えています。

問 一般管理費で、支払地代家賃15万5千円とあまりにも安いのが内訳は
答 指摘の部分は、看板設置の用地代で、土地代は約270万円を別に計上しています。

平成25年度政務活動費を報告します

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要経費の一部を政務活動費として交付しています。この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5千円が会派に対し支払われます。平成25年度は、3つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

政務活動費収支一覧表

会派名	日本共産党香美町議員団	清流会	新風会
所属人数	2人	5人	4人
所属議員	山本 賢司、谷口 眞治	西村 伸一、橘 秀太郎 田野 公大、西谷 尚 藤井 昌彦	見塚 修、山森 昭夫 上田 勝幸、西坂 秀美
交付額(a)	120,000円	250,000円	170,000円
支出額内訳	調査研究費	184,350円	151,850円
	研修費	67,400円	
	広報・公聴費	51,482円	
	要請陳情等活動費		
	会議費	2,080円	
	資料作成費		
	資料購入費	66,438円	
	事務費 人件費		
支出額合計(b)	120,000円	251,750円	151,850円
町への返還額(a)-(b)	0円	0円	18,150円
政務活動費を使った 主な活動	ごみ問題を考える学習会（意見交換会）の開催、町政報告の作成と新聞への折り込み	㈱ウエルネス四万十研究所（高知県四万十市）の動植物活性微生物酵素の農業・畜産への活用、NPO法人グリーンバレー（徳島県神山町）の空き家を利用した企業誘致について視察	農業法人榎神子の里（石川県羽咋市）の取り組みについて視察

※清流会と新風会は年度途中で会派を結成しました。また、支出額の超過分は自己負担しています。

議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名	議員名																
	岸本 正人	藤井 昌彦	見塚 修	徳田 喜代子	西谷 尚	山森 昭夫	山本 賢司	谷口 眞治	寺川 秀志	森 利秋	田野 公大	橘 秀太郎	西川 誠一	上田 勝幸	西村 伸一	西坂 秀美	
議案第99号	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○
議案第89号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので-で表示しています。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月11日と12日に15名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



山手の現状



ロケーションは最高な今子浦

ファミリーイン今子浦の今後の運営は将来のあるべき姿を模索していききたい



寺川 秀志 議員

社長交代で変革できるか
一、神戸営業所とコラボ
してお客を増やす考えは
あるか

また、売上アップは、
どのように図っていくか
二、施設の改修は、トイ

レ・施設前の駐車場等が、
考えられるが
三、今後のファミリーイ
ン今子浦の運営形態は、
経営は、民間の株式会社
の参入で活性化を図ると
か、将来を見据えて検討
委員会等をつくって町長
の任期中に方向性を示す
べきだ

〔町長〕 一、神戸営業所
の職員もファミリーイン
の施設でないと思入れ
ができない顧客の獲得は、
考えていると思います。
二、施設の改修は、高圧
受電設備や海側の外壁の
塗装、駐車場整備等、公
社の負担も含めて計画的
に協議していきます。
三、施設は町のもの、運
営形態は、町内の株主を
主体にするのか、オーナ
ー的な町内企業だけに運
営を任せるのか、将来の
あるべき姿を模索してい
きたいと考えています。

**山手区画整理の進捗状況と支援策は!!
進捗率72%、迅速的確に支援する**



見塚 修 議員

平成10年に着手した山
手区画整理事業について、
次の5点を伺う。

①計画時の事業目的と町
の取り組み姿勢と現在の
姿勢は。②残事業とその
内容は。③土地購入者の
権利保護は。④早期完了
に向け支援策の見直しは。
⑤国内における昨今の災
害状況から、町中央防災
センター等を山手を適地
として建設する考えは

〔町長〕 事業は①香住の
市街地の密集状態から宅
地の利用増進と健全な市
街地の造成を図る目的で、
町は準備段階から一日市
放水路整備、技術的援助
無利子貸付、後のJRA
ンダー等早期完成に向け
組合と一体になって取り
組み、現在もその姿勢で

す。②進捗率72%で残事
業は擁壁、水路、道路舗
装工事や確定測量等で約
1億5千万円が必要です。
③購入者の土地権利は確
定していません。④更な
る支援が必要と考え、迅
速的確に支援します。
⑤防災センター機能施設
や他の公有施設の誘致や
先行取得を含めて検討し
ます。



夢を現実に！

山川海の新たな活用の中で、将来に対し産業においても夢の持てる取り組みの考えはあるのか。具体的には、但馬全体で冬季国体の誘致の動きがあるが、町長はご存じ



西谷 尚 議員

か。国体誘致をする事によりスキー産業の活性化・活力と創造・新たな設備投資等の刺激・雇用の拡大・社会基盤整備などが考えられる。合併以来、住民は今後の生活に不安をもち暮らしてきた。町の活力や、やる気を引き出す為には、町民の皆さんが夢を持てる取り組みが大事だと思っ

ている。町長の考えを伺う。町長 実現すれば、香美町にある4つのスキー場は、観光振興・地域振興の上で大変有利と言う部分もあります。色々な部分でハードルがありますが、実現に向けて又、夢のある事業には出来るだけ取り組んでまいりたいと言う思いであります。

冬季国体誘致を但馬全体で！ 実現に向けて頑張ってまいりたい



町民ボランティア活動



山森 昭夫 議員

人は、他に認められることでさらに活性すると理解している。

規定に激励表彰の追加を 活動評価の判断が難しい

本町にも既に功労者表彰規則があるが、現活動を表彰対象に追加して、一層の活性化を奨励する激励表彰規定が必要と考える。

また、追加する表彰名称は、町花、町木などを取り入れて香美町発信の一助とするのが望ましい。町長 現行の表彰規則は、町の振興発展に寄与功績が顕著な方の表彰が目的であります。来年、合併10周年記念

と考える。町の活性促進を主眼に表彰規則を再点検して見直す考えはないか。激励表彰については、継続性など活動評価判断が困難なことから難しいと考えております。また、表彰規定について様々な議論があることを含めて全般的な意味で表彰を考えます。式典を開催できれば、その中で該当する方は表彰したいと考えています。



すべり台1台のしおかぜ香苑

学校での勉強・学習は教育の一環として、非常に大切だが、それに勝るとも劣らず、遊びは子供の心身を鍛え、心身の健全な発育に必須の重要な役割を果たしている。



上田 勝幸 議員

子供は遊びの中で、独創性や創意工夫を凝らす少子化が町の存亡を左右する今、遊び場を充実させることが重要ではなからうか。街中のしおかぜ香苑など遊具がないに等しい。旧香住幼稚園跡地に眠る遊具をもって行けないか

町長 当該遊具は整備不良のため、そのままの使用は困難で移設は考慮点から、遊具の充実は検討しなければならぬ課題だと考えています。

子供の成長に遊具の充実を 遊具の整備・充実を検討します



急げ！土砂災害のハザードマップの整備



徳田 喜代子 議員

近年、異常気象による災害が激化し局地的豪雨が年々増える傾向にある。

土砂災害ハザードマップの整備を 早急に作成し配布を検討します

山林が総面積の86%を占める香美町では土砂災害が起こり得る危険性があり、早急な点検が必要だ。①土砂災害警戒区域と過去の被害実態②ハザードマップの整備を急げ

町長 ①土砂災害警戒区域は香住区263カ所、

村岡区240カ所、小代区121カ所の合計624カ所と危険想定区域が多く点在しています。過去の被害について、香住区では台風や集中豪雨による浸水被害、村岡区と小代区では地滑りや急傾斜地の崩壊が多く発生しています。②町が作成し

全戸配布しているハザードマップは洪水ハザードマップのみです。県公表のCGハザードマップ(洪水、土砂災害等5つの自然災害の危険箇所等の情報を記載)は町広報や町ホームページで周知を図っていますが、町で土砂災害ハザードマップを作成し配布することを早急に検討していきます。



障がい児教育の拠点・みかた校（仮称） 来年4月開校

来年4月に県立出石特別支援学校の分校・みかた校（仮称）が旧射添中



森 利秋 議員

みかた校開校、福祉サービス充実せよ 放課後・長期休暇預り対応します

学校を改修して開校される。この分校は知的障害の児童・生徒を対象とした学校で小学部・中学部・高等部の3学部である。10月に香美町心身障害児就学適性指導委員会が開催される。該当する児童・生徒の保護者は学校の選択を迫られる。みかた校

を考えた場合、放課後等の対応など町は福祉サービスの充実を早急に決める必要がある。準備はすすめているか

町長 みかた校に係る課題として保護者の皆さんが放課後や長期休暇の日中に児童・生徒の見守

り支援である日中一時支援や放課後デイサービスなど福祉サービスを希望された場合に対応できるサービスがあるかどうかです。放課後や長期休暇時の対応は町の委託事業として射添小学校の空き教室で実施します。預り以降の送迎サービスは今検討中、方針決まれば関係者の皆さんに連絡します。



夢は、地元の高校から地元の水産大学へ



西川 誠一 議員

香住に水産大学を誘致しては 取り組みの判断は困難です

4月1日より全国初となる『香美町魚食の普及の促進に関する条例』が施行され、香美町は「魚の町」であるということが再認識された。日本海の豊かな漁場で

安心・安全でかつ鮮度の良い魚を漁獲し、その魚を加工する多くの業者が存在し、加えて県で唯一の海洋科学科を有する県立香住高校がある。

そんな「魚の町」香美町に水産大学（水産系学部）を誘致する考えはないか

町長 大学誘致の効果は、人口増加、経済的な効果、社会的な効果、文

化的な効果などが期待されますことから大変魅力があることと認識しています。しかしながら、現段階で大学誘致のノウハウを全く持ち合わせてない状況や少子・高齢化が進行する中で実現性に懸念があることから取り組みの是非について判断することは困難であると考えています。



住民のくらしを考えて！



急がれる土砂災害対策

防災対策は万全か 地域防災計画を見直しています



谷口 眞治 議員

町の防災計画について、町長の所見を伺う。
(1) 地域防災計画の見直し

とその町民周知は
(2) 防災本部組織と地域対応、防災行政無線の活用
(3) 津波・土砂災害警戒区域対策は万全か

町長 (1) 地域防災計画の4つ (①津波災害の想定津波高3.05mの追加②避難勧告等発令基準

③避難所④本部組織の配備体制)を見直しました。地域防災計画・町民版を全戸配布で周知します。

(2) 災害発生や恐れがある場合は、災害対策・警戒本部を設置し、地域局も同様の対応とします。2号配備では、本庁・地域局のある地区を除く7地

区に職員と消防団員配備の分駐所を開設し、Jアラート自動放送できる防災行政無線を進めます。

(3) 津波対策は5箇所の避難路、町内100箇所の海拔表示板、164箇所の避難所看板を整備し、県が指定する624箇所の土砂災害警戒区域で県が対応できない箇所を町が補完整備します。

貯め込んだ金は住民のくらしに 平成27年度予算に向けて検討



山本 賢司 議員

平成25年度決算を結んで、財政状況をどう認識しているか。

住宅リフォーム助成は200万円以上に20万円補助としたが、事業件数が3分の2に減った。予

算額を増やし、店舗を対象に加えるべきだ。使わずに貯めている地域振興基金は、今すぐ1億円使え、来年5億円積むと、平成30年以後毎年1億円がソフト事業財源となるがどう活用するのか

町長 平成25年度決算で実質公債費比率は16.5、経常収支比率は79.3、財政調整基金は23億円と

危機的状況を脱し2年間は弾力的な予算となる見込みですが、中長期的には楽観できません。住宅リフォーム事業は商品券で地域循環へと変えました。効果はあったと見ていますが、来年に向けて、補助額・対象の検討はします。

金が貯まったから補正するといふのでなく、地域振興基金も来年当初予算で使うよう検討します。



どうなる中山間地の水田

本町には条件不利地域である山間棚田が多くあり、国の施策の中山間地



西村 伸一 議員

将来の水田農業は!! 集落での話し合いを基に進めます

直接支払い制度と民主党政権でバラマキとよく言われた戸別所得補償制度（現在の経営安定対策）で耕作放棄地になろうとする水田をなんとか維持してきたと思う。次期対策の5年間は加入する農家は高齢のため減少するものと思っている。その

町長 これからの水田農業は、集落での話し合いを基にそれぞれの集落にふさわしい方針を選択し、担い手や集落営農組

織等に営農を集積し、多面的機能支払制度や農地中間管理機構等の新規事業をうまく活用しながら集落全体で農地や水路、農道等の地域資源の保全をしていくことにより、集落農業の活性化が図られ、香美町全体の農業活性化につながるものと考えています。



朝倉高清ゆかりの内倉洞窟



藤井 昌彦 議員

平成28年8月11日より国民の祝日「山の日」が制定される。町にはまだまだ未開発な歴史名所観光スポット内倉山、瀬川溪谷、三川山等がありストーリー性という付加価

町長 当然「海の日」に海にちなんだイベントで集客をみており「山の日」についても香美町は大部分を山が占めており町としてもそれに向けて観光組合関係者、歴史に詳しい方と協議検討します。

教育長 山だけでなく、海、川にちなんだ郷土歴史をふるさと教育に位置付け、子供たちに誇りを持ってほしいという思いをしつかり踏まえ対応したいと思います。

「山の日」を観光振興、歴史教育へ その方向で各方面と協議検討します



来年度から新法で運営（香住幼稚園）

担当医表		
院長(総合診療部:内科) 浦辺 啓太	(総合診療部:内科) 山田 瑞子	耳鼻咽喉科(金曜日) 鳥取大学 大学 医師
副院長(整形外科) 藤原 正通	総合診療部:内科(火曜日) 井川 修	婦人科(第3金曜日) 鳥取大学 大学 医師
(総合診療部:外科) 田村 英明	泌尿器科(火曜日) 鳥取大学 森實修一	薬局長 谷垣 雅人
(総合診療部:外科) 宇田 憲市	泌尿器科(火曜日) 鳥取大学 引田克弥	検査部長 池本 優子
小児科 大塚 拓治	小児科(金曜日) 太田 垣綾美	事務局長 清田 光男
(総合診療部:内科) 吉矢 生人	耳鼻咽喉科(水曜日) 神戸大学 大学 医師	
(総合診療部:内科) 高津 宏樹	耳鼻咽喉科(木曜日) 正垣 直樹	

急がれる医師確保対策

子ども・子育て関連3 法を受けて、香美町でどのような変化があるのか。



橋 秀太郎 議員

子ども・子育て関連3法を受けて、香美町でどのような変化があるのか。

また、香美町では実施していないファミリーサポートセンター事業を導入する予定はないか。出産祝福事業（昨年までは第3子以降の出産に5万円支給↓今年度から全ての子供の出産に3千円の商品券支給）を見直す気はないか

町長 基本的に保育の認定制度の導入によって手続き、保育料ともに大きく変わることはありません。幼稚園に関しては、16時以降の園での一時預りも検討します。小学校の放課後児童クラブは、対象を1〜6年に拡充することを検討します。フ

ファミリーサポート事業は中身を十分検討して内部で協議を進めていきます。出産祝福事業は今年度からの取組みですので、見直すことは考えていません。

医師確保対策に奨学金制度創設を!! 制度を創設する方向で検討します



岸本 正人 議員

町長はじめ担当課は医師確保に大変努力して成果もある。しかし将来にも確保を図る意味で、やはり制度は有効だと思っ、三回目の提案であるが、他病院での2年の研修を

含めて合計6年勤務で返済免除期間とすることは、前回町長は「町民の理解を得られないのでは」との答弁であったが、私は十分理解は得られていると思う。4年間勤めた後も勤めてみよう、または将来また勤めてみようと思われとの希望が持てるはずだ

町長 私を筆頭に丸となつて医師の招聘に努

めています。訪問・面談等を積極的に進めています。奨学金制度は、香住病院のような規模の病院が取り組むとなると研修期間の2年間の取り扱いは、ほかに課題があり、様々な角度から検討を行ってきました。具体的にはまだ詰めておりませんが、内部で一生懸命検討しています。何らかの制度を創設していきたいという思いであります。

その他こんな質問も しました

質問議員	質問項目
見塚 修	1. 今後の教育環境の在り方を検討するとされる「諮問」「答申」「教育環境会議」について問う
山森 昭夫	1. 公契約条例の制定について
西谷 尚	1. 夏までの観光入り込み数は 2. 道路改良による産業支援
徳田喜代子	1. 福祉医療制度について
上田 勝幸	1. 健康の維持・増進また観光振興のため、ウォーキングを大いに奨励すべき
西川 誠一	1. 町内の活性化について問う
谷口 眞治	1. 子ども・子育て支援新制度（保育所・幼稚園・学童保育）について問う 2. 不燃系ごみ処理施設火災事故後のごみ行政について問う
山本 賢司	1. 保育新制度で何がどう変わるか 2. 第6期介護保健事業計画で高齢者・介護者・地域住民は安心できるか
藤井 昌彦	1. 町内高校志望について
橘 秀太郎	1. 今までの一般質問の展開について
岸本 正人	1. 学校の再編問題について
田野 公大	1. 少子高齢化と人口減少対策について



みんなで守ろう!!

サル対策について
一、頭数の管理と調査の実施、今後の計画は
二、町民と行政が一体となって取り組まなければならないと思うが、行政は何をし、町民に何を求



田野 公大 議員

めるか
三、サル対策について今後どうあるべきと思うか
町長 頭数調査については、森林動物研究センターと小代地域局農林建設係が連携しながら、年1、2回現地調査で頭数を把握することとしています。今年度は8月に5日間実施しました。
町民の皆様には、サル用電気柵の設置と管理、

サル対策について町民に何を求めるか
集落ぐるみで取り組んで欲しい

追い払い、野菜・果樹の放置によるえさ場を作らないなど、集落ぐるみでの取り組みをお願いいたします。行政は悪質個体の駆除と適切な頭数管理を徹底し、今後大型捕獲檻の有効活用を図ります。所有者の了解を得て物置等による捕獲も検討します。

◆ お詫びと訂正 ◆

前号（第38号）、「この人ここにあり」の記事に誤りがありましたので、お詫びし次のとおり訂正します。「村岡少年野球クラブのあゆみ」に昭和51年設立と記載しましたが、正しくは昭和49年設立です。

いんじんまつり

(香住区)

今回の取材は、香住三番叟保存会実行委員の委員長、濱上栄作さん(香住区香住)にお話を伺いました。



濱上栄作さん

香住三番叟保存会実行委員とは

香住三番叟は民俗文化財として香住地区が所有しており、区民全員が保存会員で区長が会長です。この形態は珍しく、実行委員が中心となって伝統芸能の継承、指導をしています。

三番叟とは

秋祭りの日、香美町香住区内の6地区で氏神に奉納されます。1つの地区に集中して残っているのは、国内、県内でも大変珍しいとされています。三番叟は、大地を踏み固める悪魔払いの呪術であったとされており、「舞う」でなく「踏む」と言っているのは、そうした踏み鎮めの祈祷のなごりと考えられています。

香住三番叟は毎年、香住区香住の中学1年生男子が翁(おきな)、千歳(せんざい)、黒木尉(くろぎじょう)の三神にふんして、謡(うたい)や笛、鼓、拍子木のリズムに合わせて力強く舞台を踏みます。



実行委員会の人数は

21歳から61歳までの23人です。30代、40代が中心です。

活動を通じて感じる

夏の終わりから約40日間、毎晩のように踏子(中学1年男子)と、例大祭への奉納という目標に向かって懸命に稽古します。その中で、中学生が礼儀、挨拶などを通じて

今年の踏子

日々成長していく姿を目の当たりにします。青少年健全育成講演会では「地域の子供を育てている」と高い評価を受けました。自分達が大切にしていたものが、知らないうちに地域の子供を育てていることに気づき、嬉しく思いました。

苦労や悩みは

やはり、後継者の問題があります。香住三番叟は、昭和52年から毎年1の男子(3人)に踏子を限定しており、地区内に中1男子が3人いない



香住神社での奉納

香美町議会に対して一言

町内には三番叟は7団体あります。これらの団体が集まったり、交流できる機会を積極的に作っていただきたいです。

学年が出てきた時は今までの伝統を変えてしまうことになりません。また、実行委員会のメンバー確保も苦労する点です。



今年は叔父、甥共演も 実行委員には同級生も

編集後記

出来秋を迎えての9月定例会、今年は異常気象により、毎日のように雨が降り続きました。広島市や丹波市市島町では集中的な豪雨による甚大な被害で多くの尊い命や家財が一瞬のうちに失われました。心よりご冥福、お見舞い申し上げます。私たちが議員も有志によるボランティアで市島町においてガレキ、土砂の撤去作業を中心に行って来ました。山林と急傾斜地が多くある本町、危険性のある土地を再確認し、砂防対策等具現化が急務であると強く感じました。

(N)

編集発行責任者

議長 西坂 秀美

広報公聴常任委員会

- 委員長 橘 秀太郎
- 副委員長 徳田喜代子
- 委員 藤井 昌彦
- 西谷 尚
- 山森 昭夫
- 田野 公大
- 西村 伸一